

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第2学年	類型	I型
単位数	2単位	教科書	新高校の数学Ⅱ（数研出版）				
補助教材	ポイントノート数学Ⅱ（数研出版）						

学習目標	方程式・式と証明、図形と方程式、及び三角関数の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章 複素数と方程式 第1節 式の計算	3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、二項定理を組合せの計算と関連づけて学ぶ。 整式の除法では整式と商・余りの関係を理解する。 2次方程式の解の範囲を複素数まで拡張し、判別式や解と係数の関係への関心を深める。 等式や不等式が成り立つことを証明できるようにし、論証についての理解を深める。	中間考査
	5月			
	6月	第2節 複素数と方程式 第3節 式と照明		期末考査
	7月			
2 学期	8月	第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2説 円	内分点・外分点と座標の関係の理解を深め、平面図形の性質を調べられるようにする。図形の方程式を学ぶ。 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用することができるようにする。 不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表すことができるようにする。	中間考査
	9月			
	10月			
	11月			期末考査
	12月			
3 学期	1月	第3章 三角関数	一般角および弧度法を学習し、三角関数の基本性質・相互関係を理解し、グラフをかけるようにする。 加法定理から2倍角の公式や半角の公式を導き、三角関数の合成も利用できるようにする。	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
		基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの知識とともに、事象を数学的に表現・処理し、推論する技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		